

# いまかね

今金町農業協同組合

平成24年1月 NO. 438

表紙

強い日本 未来へ進め！

「日本を支える農家の力」

青年部が看板を制作！



連載 第5回  
NEXT GENERATION  
田代地区 芳賀 健太さん 2ページ掲載

# 輝かしい新年を迎えて

今金町農業協同組合 代表理事組合長

細川信一



つ新しんで  
お慶びを  
申しあげます

平成二十四年元旦

代表理事組合長

細川信一

明けましておめでとうございます。平成二十四年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。組合員の皆様におかれましては輝かしい新春を心新たに気持ちで、希望を持たれてお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の本町農業は、春先には低温・日照不足等による生育の遅れが心配されましたがその後の天候は回復傾向に向かい、台風など大きな被害もなく総体的には平年に近い出来秋となりました。これもひとえに組合員の皆様のたゆまぬ努力の賜と深く敬意を表する次第であります。

に、JAグループ一丸となって今後更にTPP問題を始めとして、必要な政策の提言と実現を求めていくことが必要です。

また、当町の農業を取り巻く情勢は、国際化の進展とともに農政の大転換が行われ、農家戸数の減少・高齢化、農業予算の削減と地方財政の悪化と厳しい情勢にあります。助成金農業からの脱却と経営形態の選択、生産基盤の維持と地域農業の活性化、農畜産物の安全安心への取組など課題は山積しています。

そうした厳しい状況ではありますが、「農家が自立して経営に夢をもつこと」を実現に向けて、各事業部門別の戦略目標・実行計画に引き続き取組み、強力に推進してまいります。

「日本国の在り方」を根本から変えてしまうTPP問題は、農業関係者のみならず日本国民に大きな衝撃を与えました。生命産業である農業への大打撃は勿論のこと、医療保険制度や食の安全等が崩壊する恐れのある「米国ルール押しつけ」のISD条項の存在など、TPPへの交渉参加はこの國の形を大きく変貌させてしまう事は確実です。この問題はまさに正念場を迎えていますが、専業的な担い手が夢と希望、意欲を持つて持続的に農業生産活動や魅力ある農村生活を営むことが出来るよう、地域の生産力の向上と食料安定供給への更なる貢献を目指して北海道農業の潜在能力をフル発揮するため

とができますよう心から御祈念申しあげます。

本年も災害がなく家族が健康で豊穣の出来秋を迎えることを願い申し上げます。

金融部長	一入修	代表監事	村本正義
		監事	山本智明
		員外監事	加藤要
		管理部長	大場倫夫

常務理事	船木実	理事	内ヶ島道良
		事務	村瀬廣
		事務	湯元智彦
		事務	小池泰徳

# 張れ東北！ 張れ福島！！



## 被災地農家へ 牧草ロール28個を支援

### 震災の記憶が風化し忘れ去られていく…

3月11日、東日本大震災が発生し東北地方に甚大な被害を及ぼしたことは、日本国民すべてに衝撃をあたえました。津波の被害は言わずもがな、原子力発電所の事故により現在も日本各地に、放射性物質による影響が及んでいます。

11月9日、今金町から1台のトラックが牧草ロール28個を積んで、被災地福島県二本松市にむけて出発しました。福島県の畜産家5戸の飼育する肉牛に、放射性物質に汚染されていない牧草を届けるためです。

この、牧草ロール支援は鈴岡地区の幅口博隆さんの妻、幅口志保さんの呼びかけで実現しました。一本松市で同じ畜産業を営む友人が、牧草が無く困っている事を聞き「自分に何か出来ないだろうか・・・」と思い行動されたそうです。

課題となつたのは運賃をどうするかということ。牧草ロールは有志の寄付で集めるとしても、福島県まで運ぶ運賃をどうするか・・・。JAの酪農畜産課に相談し色々と模索して酪農学園大学の被災地支援ネットワークにたどり着き、被災地支援のため酪農学園大学に集められた募金から、牧草ロールを運ぶために運賃分をなんとか確保することが出来ました。しかし、この募金ももう底をつけ、再度牧草を送ろうにも違う資金源を探す必要に迫られているという状況です。

### 継続的な支援が必要なんです

今回の支援についてお話を伺うなかで、幅口さんは『今は、TVでも震災の影響について取り上げられなくなつてきているように感じます。取り上げられても、耳当たりの良い美談だけ。牛には餌を与えるべきやいけないけど、国の支援策が曖昧で、補償があるのか分からぬか最低でも月に30万円位は餌代が必要になるんです。』と語り、『速効性があつて、なおかつ息長く「活ける支援」を直接届ける必要があるんです!ただし、個人的に支援を行うのはもう限界・・・。組織やJA、町の取組として何とか継続的に実施してもらいたいんですよ。』と、悔しさを滲ませながら語りました。こうした苦労を乗り越え今回送った牧草ロールは日進地区の小池泰徳さんが8個、残りを幅口さん夫妻が提供し送られました。第2回目の牧草ロール支援も決まっていて、2回目は幅口さんが全国の友人・知人に呼び掛けて集まつた募金で運賃を捻出するそうです。

『現地に行ってみて、本当の意味で被災地の惨状が分かつた』と話す幅口さん。この取組にひとりでも多く共感し、協力する方が現れる事を願わずにいられません。趣旨に賛同される方、是非ご協力を宜しく御願いします。

# いまかねTOPICS

## ●今金農業を支える担い手たち！「農業後継者激励会」開催

昨年11月15日、平成23年度農業後継者の激励会がJA今金町で開催されました。

平成23年度の農業後継者は村瀬一人さん（経営者・村瀬重一）、中山和久さん（経営者・中山一浩）、田中美佳さん（経営者・田中文夫）、谷ひろみさん（経営者・谷新一）の4名。

激励会にはJA役職員、JA青年部・女性部の役員が出席。

これから今金町農業を支える担い手たちに激励の言葉をかけ、懇親を深めました。



## ●強いニッポン 未来へススメ!! 青年部が看板を制作しました！



J A今金町青年部が今金町農業のPRと、東北被災地へ応援を兼ねて看板を制作しました。

完成した看板は広域連の国道向かいに設置され、看板を通じて地域住民の方々やドライバーに「国土・食料と生命を支えている農家たちの底力」をPRします。完成した看板は、J A北海道青年部協議会が主催する手作り看板コンクール等へも出展。作成の模様は弊JAのホームページにも掲載していますのでぜひご覧下さい。

## ●美味しい！「今金米」を札幌市スーパーでPR販売

11月18日、札幌市厚別区にあるスーパーマーケット「ホクノ一中央店」に生産者や関係者が訪れ、店頭で今金米のPR販売を行いました。

ホクノ一中央店でのPR販売は毎年行われており、今回参加したのは今金町稲作部会から佐々木政徳さん、吉本辰也さん、JA今金町青年部から仁木儀一さん、JA今金町女性部から岸幸子さん、仁木由喜江さん、村本敏子さん、平原美恵子さんのほか農協・役場職員の合計10名。店頭では新米の今金米「ななつぼし」が販売されたほか、炊きたての新米の試食や餅つきのパフォーマンスも行われ集まったお客様にご好評をいただきました。



## ●JAバンクは食育を応援します！ JAバンク教育活動助成事業



11月14日JA今金町女性部・青年部の皆さん、町内の保育所・子ども園、小学校、中学校を訪れ、地場食材がふんだんに入った、「今金チップ丼」と「お味噌汁」を児童・生徒たちと一緒に給食として食しました。

今年で4年目を迎えた「ふるさとのほほ笑みと恵みに感謝する日」と題されたこの取組。地場産の農産物を素材の味を生かした給食として生産者が児童生徒たちと一緒に食べることで「ふるさとの恵み」に感謝する心を育むきっかけになれば、という目的で行われています。食材など必要な物の購入には「JAバンク教育活動助成事業（食育推進事業）」が使われ、児童生徒たちの食育の為に活用されています。

## ●TPP交渉参加絶対阻止！ 未来のニッポンのために出来ること

TPP交渉参加反対を訴える総決起集会が11月5日、JA今金町大会議室で開催されました。

今金町・今金町議会・今金町農協・今金町農業委員会・狩場利別土地改良区・今金町森林組合・今金町農民連盟と町内7団体の主催で行われたこの反対集会、JA駐車場前で開催予定でしたが、当日はあいにくの雨で残念ながら屋内での開催となりました。しかしながら、会場一杯に関係者が参加し農業者を始めとして多くの参加者が「TPP交渉参加反対！！」を声を大にして訴えました。

前号で、いかにTPPが危険なものか特集でお伝えしましたが、周知の通り残念ながら民主党政府、野田首相の判断のもと「TPP交渉参加に向けて協議開始」となってしました。しかし、まだまだ諦める訳にはいきません！

国の形の根幹に関わるこの問題、将来の子孫たちに後ろ指さされないよう国民一人一人が自分自身の問題と捉える事が大切です。後悔しないためにも、政府・地元議員・関係省庁にメールやFAXで訴えるなどして、最後の最後まで反対の声を上げていきましょう！！



▲挨拶を行う細川信一組合長

## ● 農業青年の出会いの場『GREEN JAM』大盛況でした♪

10月29、30日に上ノ国町夷王山キャンプ場で、『GREEN JAM(グリーンジャム)』が開かれました。

このイベントは檜山管内の農業青年達が中心になり「農業青年に女性との出会いの場を」「農業の事を知って欲しい」という想いから、檜山振興局や各地区の役場・普及センター・農協などの協力のもと実行委員会を立ち上げて実施されました。

当日は快晴で絶好のイベント日和となりました。男女とも参加者は多く、夜遅くまで会場は盛り上がっていました。

来年以降も継続して行っていきたいということなので、参加されなかった方！来年こそは参加してみましょう♪



▲夜は花火で盛り上がりいました。キャンプファイヤーやカレーライス作りなど内容盛りだくさん！！（詳しい様子はJAのHPに掲載中です）

## ● JA北海道女性リーダー研修会・家の光大会

11月10～11日の2日間、札幌市北区のガトーキングダムサッポロでJA北海道女性リーダー研修会・北海道家の光大会が開催されました。この研修会・大会には全道各地から500名超の各JA女性部員が参加し、JA今金町女性部からも5名が参加。催しとして『JAの家庭雑誌「家の光」の記事を活用した事例発表』や、工夫を凝らした手製の『農作業着ファッションショー』、手芸品などの『作品展示』が期間中行われました。



『家の光記事活用体験発表』では、写真がスライドに映し出されながら、日頃の営農のことや生活のこと、家の光を活用した女性部活動の内容などが発表されました。

どの発表者も苦労を積み重ねながらもパワフルに、そして楽しんで農業を営み、女性部活動を行っていることが伝わってきました。全道各地、それぞれで色々な女性部活動が行われていることを改めて知ることが出来る機会となっています。参加された女性部のみなさん、全道のなかまたちとの交流を通じて明日からの営農の活力を養うことができたようです。

## ● 道南地区的農業青年が集合！ホクレンとの意見交換も行いました

11月18日、北斗市農業振興センターで「JA道南地区青年部協議会 冬期部員研修会」が行われました。

J A今金町青年部からは4名の部員が参加し、研修会では分科会形式でテーブルを分けホクレン函館支所の米穀や酪農畜産など各部門の課長と、日頃疑問に思っていることや改善を望むことなど、様々な意見が交換されました。

また、研修会終了後はバスケットボールに汗を流し、道南地区的青年農業者同士交流を深めました。



連載

第5回

# NEXT GENERATION

新世紀の担い手たち

田代地区 芳賀 健太さん (29歳)



今金町を担う若者達を紹介するこのコーナー。第5回は田代地区の芳賀健太さんをご紹介します。

芳賀さんは酪農学園大学卒業後に就農。就農から7年目の現在、今金町青年会議の事務局長としても活躍されています。地域を支え、盛り上げていく人材として今後ますます活躍が期待されます！

## 《プロフィール》

芳賀 健太 (はが けんた) 29歳

酪農学園大学卒業 (就農7年目)

《経営作目》 水稻、馬鈴薯、大根、人参、大豆、小かぶなど

## 《家族構成》

芳賀芳見 (父 60歳)、喜巳枝 (母 59歳)、  
キサ (祖母 92歳)、暁 (妻 31歳)、悠真 (長男 1歳)

## 《農業をしていて感じること》

作物を生産する喜びもありますが、地域や人の暮らしだに大きく関わる仕事であるということを実感しています。

そういう意味では、生活の基盤とは何かと考えさせられる仕事だと思います。

## 《趣味》

音楽鑑賞

## 《休日の過ごし方》

家族サービス、子どもの面倒を見る

## 《今後の夢》

『農業をやっていて良かった』と、十年後、二十年後も言えるように日々頑張っていきたいです。また、色々な事に参加し、様々な場面で役に立つ人間になりたいです。

# J A 今金町 組合員の皆様へ



J A 北海道厚生連 札幌厚生病院

## 人間ドック受診の宿泊サービスのご案内

このたび、遠方より当院人間ドックをご利用いただく方のための宿泊サービスを開始いたしました。ご家族方ともども、この機会に是非、札幌厚生病院で人間ドックをご利用いただき、みなさまの健康管理にお役立てください。

1. サービス内容 3月・4月・5月は札幌厚生病院にて宿泊料金を全額負担いたします。  
※上記以外の月については、一部ご負担いただきます。  
※お食事代金等は含まれておりません。
2. 宿泊ご負担額◆1月・2月・6月【シングル3,000円/1名】【ツイン2,000円/1名】【トリプル1,500円/1名】  
◆7月・8月・9月【シングル7,000円/1名】【ツイン4,000円/1名】【トリプル3,500円/1名】  
◆10月・11月・12月【シングル4,000円/1名】【ツイン2,500円/1名】【トリプル2,000円/1名】
3. 対象となる宿泊 札幌厚生病院にて人間ドックを受診いただく方の前泊1日分
4. 宿泊先 ○ホテルクラビーサッポロ 中央区北2条東3丁目  
○札幌全日空ホテル 中央区北3条西1丁目  
○ニューオータニイン札幌 中央区北2条西1丁目  
※宿泊先は申込日により上記3施設の中から当方にて振分けいたします

申込・問合せ先TEL 011-261-5331 (内線2110) J A 北海道厚生連 札幌厚生病院 1階事務室

●●  
委員長  
副委員長  
南 鎌  
川 田  
博 裕

二、委員長・副委員長

ブロック	営農地区名	氏名
第1	メップ	内ヶ島 祐一
	稲穂	鎌田 裕
第2	田代	須藤 光政
	八鈴	森川 誠
第3	トマンケシ	伊藤 幸作
	鈴岡	油家 正人
第4	金原	水野 勲
	豊田	川上 等
第5	八東西	南川 博
	八束東	田畠 友明

一、各ブロック選出委員名

役員による通常総会時迄満了したのでお知らせ致します。が五委員会が開かれ、左記のようになります。役員選出委員会に伴う平成二十一年度十任四月選挙が五委員会に於けるものであります。

役員推薦会議の体制決定について

J A 広報いまかね438号 平成24年1月1日発行

◇発行 今金町農業協同組合 ◇住所 〒049-4397 北海道瀬棚郡今金町字今金141番地

◇電話 0137-82-0211(代表) FAX 0137-82-0641 ◇編集管理部管理課 ◇印刷 株式会社三誠社